

城北中学校

伝統ある指導と充実した学習環境のもと
学力と人間力を大樹のように育む

教育スローガンに『城北は成長の場だ』を掲げ、中高6カ年を3期に分けた一貫教育体制を敷く
城北中学校。大学受験のための勉強だけに偏ることなく、芸術科目や部活動などにも力を入れ、
クリエイティブティーを發揮することができる機会を豊富に用意しています。

自由と規律のバランスのとれた校風で 社会を導くリーダーを育成する

2021年に創立80周年を迎えた
城北中学校（以下、城北）。伝統ある
男子教育で「人間力」を育むほか、
生徒の探究心やチャレンジ精神を刺
激する学習プログラムを多数用意し
ています。城北の創立者で儒学者で
もある深井鑑一郎の教えとして、い
まも大切に受け継がれている言葉が
「質実厳正」と「刻苦勉励」です。そ
の言葉の意味について小俣校長先
生に伺いました。

「『質実厳正』は人がいつの時代も
つねに心得とすべき、礼儀と公正を

重んじることです。服装や言葉など
は飾ることなく、礼儀正しくありな
さいという教えですので、制服は家
計への負担も考慮して伝統的にシン
プルな学生服、いわゆる学ランを採
用しています。また、「一意勉学に励
み、心身の鍛錬を心懸けよ」という
意味の『刻苦勉励』は、簡単に言え
ば一生懸命勉強しなさいということ
と考えています。この2つの教えに
沿って、城北の生徒たちは志望大学
への進学をめざし日々努力を重ねて
います」（小俣校長先生）

1941年の創立当初から変わら
ない城北の教育目標が「人間形成と
大学進学」です。

「創立時から進学校であった城北
は、とくに進路指導に注力していま
す。生徒は結果を出すことは当然と
とらえており、多くの卒業生が難関
大学へ進学しています。

また、校長として9年目を迎え、

これまで以上に人間形成にも力を入
れ、様々な取り組みを進めていると
ころです。人間形成とは「社会を支
え、社会を導くリーダーとして活躍
する人間、社会を支え、人と人とを
つなぐことのできる人間育成」のこ
とです。大樹のように豊富な知識を
もとにしっかりと根を張って土台を
作り、思いやりや優しさも兼ね備え
た人間に育つてほしいと願っています」（小俣校長先生）

城北が大切にしている人間形成の
取り組みの1つが芸術の授業です。
例えば、音楽の授業では、1クラス
全員が使用できる台数のヴァイオリン
を用意し、昨年から中3の授業で
活用しています。伝統的な泥臭い男
子校のイメージも大事にしつつ、い
まの時代に合う紳士的な面も併せ持
つた男子を育てています。

そのほか、人間関係の構築や目標
に向かって切磋琢磨する経験など、

6年間を3期に分けた一貫教育で 志望大学への合格をめざす

「人間形成と大学進学」という教育
目標を達成するため、中高6カ年を
3期に分けた一貫教育体制が敷かれ
ています。中1・中2は土台を作ること
の大切さを感じ、目標達成に向けた
主体性を身につけていきます。

人間形成に大きな影響を与える部活
も盛んです。中学は原則全員加入
で、運動部23、文化部24の部が活動
しており、生徒たちは協働すること
の大切さを感じ、目標達成に向けた
主体性を身につけていきます。



屋内温水プールや2つの体育馆など体育施
設が充実しています。2クラスが同時に学
べる音楽室や美術室を備えた芸術棟もあり、
芸術科目にも力を入れています。今年の9
月には人工芝グラウンドが完成予定です。



おまか
小俣
校長先生

長野県に所有する大町山荘に2泊3日滞在して行われる「大町オリエンテーション」は、「第2の入学式」とも呼ばれ、中1・高1で入学してすぐに実施します。中3の卒業研究では個性豊かなプレゼンテーションが繰り広げられます。



学校行事・部活動

学校説明会（要予約）

9月17日（土）
10月22日（土）
11月19日（土）
12月10日（土）

施設見学ツアー（要予約）

9月 3日（土）
10月15日（土）
11月12日（土）
12月24日（土）

入試説明会（要予約）

11月23日（水祝）

文化祭（要予約）

10月 1日（土）、2日（日）

School Information

所在地：東京都板橋区東新町2-28-1
アクセス：東武東上線「上板橋駅」徒歩10分、地下鉄有楽町線・副都心線「小竹向原駅」徒歩20分
生徒数：男子のみ825名
TEL：03-3956-3157
URL：https://www.johoku.ac.jp/

「人間形成と大学進学」という目標の実現に向けて「本物に触れる・体験して感じる」ことを大切にし、生徒の好奇心や探究心を大いに刺激する教育を実践する城北。今夏には東京23区内最大級の人工芝グラウンドが完成する予定で、さらに充実した学習環境が広がっていきます。最後に、小俣校長先生から読者のみなさんのメッセージです。

課題で苦労することがないと聞いています。ICT機器を上手に使いながら、自分の意見を主張できる生徒たちがしっかりと育っているのを感じています」（小俣校長先生）

中3で行われる卒業研究はICT

教育の集大成の場として、生徒が個性豊かなクリエイティビティを發揮しています。

「城北は勉強だけに励む場所では決してありません。体育や芸術の授業なども多様な学びの機会として大切にしています。スクールカウンセラーによるカウンセリングのほかに、団の上でリラシングしながら相談員と話ができるなども多様な学びの機会として大切にしています。

生徒相談室や、家族や友人、担任には話しにくい勉強や友人関係のことなどを相談できる窓口を設けるなど、生活面のサポートも行っています。

どんな小さなことにも探究心や好奇心を持てるような生徒に入学してほしいと思っています。1人ひとりの興味関心に応えられる環境が城北にはそろっていますので、きっとあなたの居場所が見つかるはずです」

ICTを積極的に活用 課題解決力を育む

さらなる学力向上のため、今年から始まったのが「主体的な特別活動」の時間です。月曜日と土曜日以外の朝8時15分から9時までの45分間を0時間目とし、授業の枠にとらわれず、自分が自分の課題に向きあい主体的に取り組んでいます。

城北では、それらをサポートするためのICT教育にも早くから注力していました。

校内の自習室や教室を平日20時まで（土曜は18時まで）開放していますので、放課後は部活動のあとにも利用することが可能です。校内では教員のサポートを受けながら、ときに生徒同士が教えあいながら自学自習に励んでいます。その結果、高3の約4割の生徒が塾や予備校などのサポートを受けずに現役で志望する大学に合格していて、なかには東京大学に合格した生徒もいます。

また、学校で過ごす時間が長い生徒たちのために、食堂は昼夜みだけではなく朝から夜まで利用できますし、軽食を購入できる自販機なども設置しています」（小俣校長先生）

「本校のICT教育は、生徒自身がやりたいことを探究・実現するためのツールやノウハウを提供し、クリエイティビティを発揮できるようサポートすることを目的として行っています。毎年夏休みに実施している理科の自由研究もその一環です。これから社会で必要とされるクリエイティブな発想力や行動力、課題解決力などを育むために、テーマの設定から結論を導き出すところまで、最後まですべて自分でやり遂げます。

レポートの書き方なども中1の早い時期から徹底指導していますので、卒業生からは大学進学後もレポート

授業・国際教育

中1からネイティブスピーカーの教員とも触れあいながら本物の英語に触れるチームティーチングを行っています。オーストラリア語学研修や海外4カ国の約30校のなかから選ぶことのできるターム留学など充実した国際教育が魅力です。

